

令和 8年 1月 18日開催

1月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者	請求記号
沈まぬ太陽 1	山崎 豊子／著	F ヤマ 21
力ニカマは怯えているか (朝日新聞連載2025/1/11より)	東海林 さだお／著	
暖簾／花のれん	山崎 豊子／著	F ヤマ 1
山崎豊子全集 4 女系家族	山崎 豊子／著	F ヤマ 4
山崎豊子全集 10 華麗なる一族	山崎 豊子／著	F ヤマ 10
負けんとき	玉岡 かおる／著	F タマ
美人の日本語	山下 景子／著	
あの庭の扉をあけたとき (金色の赤ちゃん)	佐野 洋子／著	91 サノ
ねないこだれだ	せな けいこ／さく・え	コバタ・アカヤンE セナ

～ 読書会 memo ～

今日は寒いなか、3名の方にお越しいただき、フリートークも交えながらゆったりとお話をしていただきました。

山崎豊子の『沈まぬ太陽』は、日航機墜落事故の話で、決してハッピーエンドではないがそれでも生きていく明日のための沈まぬ太陽なのだという、タイトルに込められた力強いメッセージを知りました。紹介者の方は着々と山崎豊子作品を読み進めていらっしゃいます。

玉岡かおるの『負けんとき』は、兵庫県生まれの著者が描いた、地元ならではの実在する名称(小野藩や神戸女学院など)が出てくるので親近感があります。運命に翻弄されながらも、自らの人生を切り開いていった女性の姿を描いた感動作です。

山下景子の『美人の日本語』は、タイトル通り美しく豊かで奥深さを感じられる言葉の数々が紹介されていて、日本語の素晴らしいしさを改めて感じることができる本です。後世に伝えていきたい本だと感じました。

その他にも興味をそそられる本をたくさんご紹介いただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

次回は 2月15日(日)午前11時からの予定です。

※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。